

# 予算案と 施策



武蔵野市長  
むらかみもりまさ  
邑上守正

## 市政運営の基本理念および重点施策

本年は、市制施行65周年を迎えます。先人が築き上げてきた市政の歴史を基盤として、未来に向けてより魅力的な「持続可能な都市」を築いていく必要があります。本市で培われてきた都市文化や市民活動・事業活動の持ち味を活かして、市民とともに新しい都市像の1ページ目を開いていきます。

第五期長期計画で掲げた、3つのまちづくりの視点と4つのまちづくりの目標は、今後の武蔵野市のまちづくりの基本理念です。

コミュニティの大切さを強調する「つながりを広げよう」、人々と都市文化の多様性を活かす「多様性を力にしよう」、地域への関心が高い市民の意識をまちづくりに活かす「市民の意識を行動に変えよう」という3つの視点で、市民の力を活かしたまちづくりを進めていきます。

また、「自治と連携によるまちづくり」「支え合いをつむぐまちづくり」「平和で美しいまちづくり」「環境と共生するまちづくり」を目標に、持続可能な都市形成に向けた取り組みを行っていきます。

## 地域リハビリテーションの推進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを理念とする「地域リハビリテーション」の実現のため、保健・医療・福祉・教育など地域生活に関わるあらゆる組織・人が連携する体制の構築に、継続的に取り組んでいます。今後も地域連携協議会（仮称）によるネットワークの充実、相談機能のネットワークの強化、権利擁護事業・成年後見制度の利用の促進、福祉人材の育成などの事業を実施しながら、関係者と一体になって地域リハビリテーションを推進していきます。

## 子育てネットワークの多層化

次の世代を担う子どもたちが健やかに育ち、子育て家庭にとって子育てが楽しく充実したものになるためには、地域・団体・事業者・行政などの多様な主体の連携による子育てネットワークづくりを推進していくことが重要です。子どもを育てる家庭が地域から孤立することを予防するとともに、育児への不安を解消する観点から、ネットワークの整備を推進していきます。保育園入園希望者は増加が続いており、待機児解消に努めています。幼稚園と保育所の

機能の一体化について国の動向などを注視しながら、今後も多様なニーズに応える子育て支援施策に取り組んでいきます。

## 情報の収集・提供機能の強化

東日本大震災への対応などを通して、市民に届く情報の必要性があらためて強く求められています。必要な情報収集とともに、市民に的確に届けるための機能を強化していきます。市報やホームページなどの情報提供を点検するとともに、より一層市民の意見を傾聴する取り組みを進めていきます。

タウンミーティングは直接市民と意見を交換できる機会として、さまざまな工夫を重ねながら開催していきます。また、無作為抽出による市民ワークショップも、市の情報提供の場としての機能もあることを認識しながら、今後もこのような手法を活用していきます。

## 市民施設のネットワークの再編

市民施設のネットワーク計画には、地域社会における居場所や地域活動の基盤として市民施設のネットワーク化が不可欠との考え方があります。PRE（パブリックリアルエステイト）公的資産のマネジメント）による公有財産有効活用の観点から、今後の施設のリデザイン・リニューアルに向けた検討を層進めていきます。検討にあたっては、個々の施設だけではなく、一定の面的な広がりの中での公共施設の効果的な配置など、多角的な観点から進めます。

## 新クリーンセンターの建設と 周辺まちづくりの推進

平成29年度の稼働を目指して新武蔵野

クリーンセンター（仮称）の建設計画を進めています。平成25年度からの本格的な工事着工に向けて事業者選定手続きを進めるとともに、周辺まちづくりにも取り組んでいきます。

また、新クリーンセンターの稼働にあたり、今後ごみの減量・発生抑制を推進していく必要があります。市民団体と協働しながら、さらなる啓発などを行い、ごみ減量に取り組んでいきます。一方、新施設に引き継ぐまでの間、現在のクリーンセンターを安定的かつ安全に稼働していくため、必要な整備・点検についても着実に実施します。

## 上下水道の再整備

本市の上下水道は早期に整備されたことから、再整備の時期を迎えています。下水道管の更新工事を継続的に実施するとともに、環境改善に積極的に取り組んでいきます。降った雨を地中に浸透させるなどの循環を促すため、雨水浸透事業を積極的に進めます。また、水害を軽減するため雨水浸透貯留施設の設置も推進します。

上水道は、災害時などの危機管理を考慮すると、市単独の水道事業から広域化を図る必要があります。将来にわたる安定供給のため、都営一元化に向けた検討を進め、協議・調整を行っていきます。

## 三駅圏（三のまち）の推進

本市では鉄道駅を中心として3つの圏域が構成されており、それぞれ個性を持ったまちが形成されています。それぞれの圏域ごとの計画・ビジョンを市民とともに共有し、まちづくりを推進していきます。

（平成24年度施政方針並びに基本的施策）より抜粋

# 自治と連携を育み、 新しい都市像を開く予算

## ○編成方針

新年度予算編成は、「自治と連携を育み、新しい都市像を開く予算」と位置づけ、第五期長期計画の初年度として各事業を着実に実行していくため、限られた財源を計画的、効率的に配分することを基本に編成しました。

# 予算案と施策のあらまし

### ○予算のポイント

- 1 健康・福祉**  
武蔵野市地域連携協議会（仮称）の設置／介護保険利用者負担額助成事業／グループホームの新規開設／がん検診受診率向上事業
- 2 子ども・教育**  
境こども園（仮称）開設事業／プレこども園事業／緊急待機児対策事業／学校図書館サポーターの充実／緊急連絡システムの構築
- 3 文化・市民生活**  
平和啓発事業／これからの地域コミュニティと市民自治の検討  
地域防災計画の見直し／緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業  
国民体育大会・全国障害者スポーツ大会推進事業
- 4 緑・環境**  
公共施設における新たなエネルギー活用の検討／放射線対策事業  
新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業／水と緑のネットワーク事業
- 5 都市基盤**  
合流式下水道改善施設設置事業／建築物の高さの最高限度の導入  
吉祥寺駅南北自由通路整備事業／三鷹駅北口まちづくり構想の検討  
武蔵境駅周辺整備事業
- 6 行・財政**  
市制施行65周年記念シンポジウム／財政援助出資団体のあり方の検討  
事務事業見直し・補助金見直し

## ○一般会計歳出予算の 主な性質別構成比率

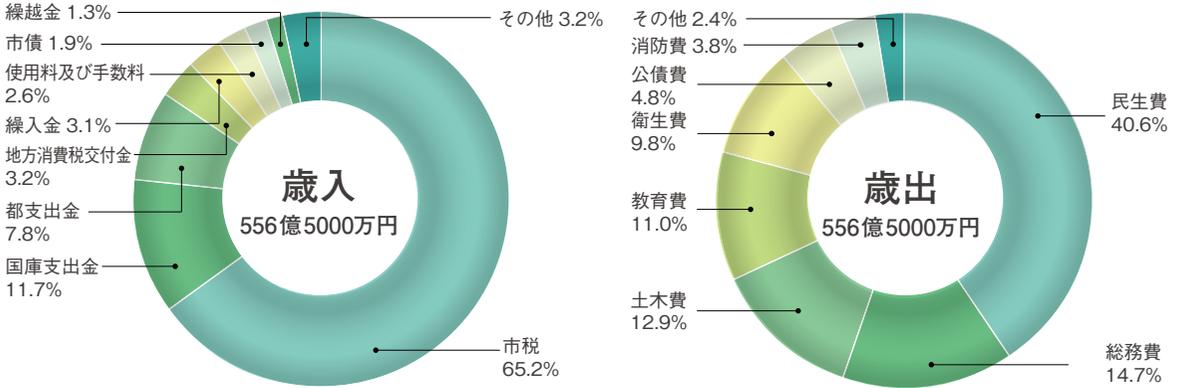
（単位：％）

区分	構成比率		予算増減率
	平成24年度	平成23年度	
物件費	24.9	24.7	△1.5
扶助費	19.7	20.2	△4.2
人件費	17.7	17.7	△1.9
補助費等	11.3	10.7	3.2
投資的経費	10.6	11.9	△12.4
繰出金	9.4	8.8	4.8
公債費	4.8	4.6	1.5

## ○会計別予算額

会計名	平成24年度	平成23年度	比較	
			増減額	増減率
一般会計	556億5000万円	568億3000万円	△11億8000万円	△2.1%
下水道事業会計	41億587万円	28億1862万円	12億8725万円	45.7%
国民健康保険事業会計	121億8245万円	116億8206万円	5億39万円	4.3%
後期高齢者医療会計	30億6702万円	28億6178万円	2億524万円	7.2%
介護保険事業会計	96億6247万円	96億6247万円	0万円	0.0%
合計	846億6781万円	838億5493万円	8億1288万円	1.0%

○一般会計歳入・歳出予算構成比



一般会計予算 **556億5000万円** 市民1人あたり：40万9767円  
1世帯あたり：78万5418円

○市民1人あたりの予算額 ( )は前年度予算

市民の人数 <b>13万5809人</b> 平成24年1月1日現在	市民1人あたり <b>40万9767円</b> (41万9113円)	高齢者、障害者 福祉などのために <b>10万9530円</b> (10万4846円)	子育て支援 のために <b>6万55円</b> (6万2901円)
道路、公園整備 などまちづくりに <b>5万3894円</b> (4万9766円)	学校教育、図書館 やスポーツ振興に <b>4万5189円</b> (5万5142円)	行政運営のために <b>4万3812円</b> (4万5410円)	ごみ処理、環境 保全のために <b>2万5005円</b> (2万8698円)
市債の償還に <b>1万9488円</b> (1万9222円)	市民の健康を 守るために <b>1万6079円</b> (1万6165円)	消防、防災対策に <b>1万5429円</b> (1万5837円)	文化、コミュニティ、 国際交流のために <b>1万2794円</b> (1万2141円)
市議会運営に <b>3690円</b> (4075円)	商業振興や消費 者保護のために <b>3334円</b> (3471円)	その他 <b>1468円</b> (1439円)	

○複数年度にわたる建設事業

(単位：千円)

事業名	庁舎給排水管等 改修事業	八幡町 コミュニティセンター 建設事業	鉄道連続立体交差 事業		JR吉祥寺駅 南北自由通路 整備事業		武蔵境駅舎連続施設 (北側) 建設事業		合流式下水道改善 事業(吉祥寺東町 四丁目地内)		合流式下水道改善事業 (吉祥寺東町一丁目地内)	
事業年度	平成23～24	平成22～24	平成7～25		平成24～25		平成24～25		平成23～24		平成23～25	
年度	24	24	24	25	24	25	24	25	24	24	25	
事業費	223,796	136,370	178,824	538,852	82,000	380,000	235,700	261,000	422,815	1,244,000	2,124,000	

※事業費は平成24年度は予算額、25年度以降は予定額

## 学びの場をよりよい環境に

### ◎学校図書館サポーターの充実

1456万円

中学校の学校図書館サポーターの配置時間を1日3時間から小学校と同様に5時間に増やし、児童・生徒のさらなる利用を進めていく。学校図書館データベースの適正管理のため、年1回の蔵書点検を実施する。



学校図書館サポーターによる読み聞かせの様子

### ◎緊急連絡システムの構築

188万円

地震・台風などの災害情報、不審者情報、インフルエンザ情報、学校行事の中止連絡などの緊急情報を、市立小・中学校から児童・生徒の保護者の携帯電話などに、電子メールで迅速に通知する連絡システムを構築する。

### ◎第四中学校本校舎エレベーターの設置

4375万円

肢体不自由学級と通常学級との交流を促進し、通常学級生徒への障害理解を深めることを目的として、市立第四中学校本校舎内にエレベーターを設置し、併せて渡り廊下を改修する。

## 住み慣れたまちで暮らし続けるために

### ◎武蔵野市地域連携協議会（仮称）の設置

103万円

保健・医療・福祉・教育など各分野の関係機関により地域連携協議会（仮称）を設置し、在宅療養体制の整備などの地域における課題ごとに実務者間による解決を図る。

### ◎家族介護支援事業

1898万円

在宅で高齢者を介護している家族が、介護方法や介護者の健康づくりなどについての知識・技術を高められるよう家族介護講座を実施する。家族介護者交流マップを作成し、介護家族が要介護高齢者との安定した在宅生活が営めるよう支援する。

### ◎認知症高齢者支援事業

1201万円

認知症になっても安心して住み続けられるまちづくりを目指し「認知症ケア体系図」に基づき取り組みを進める。

## 効率的な行政運営とわかりやすい情報提供

### ◎財政援助出資団体のあり方の検討

500万円

市の行政活動を補完する財政援助出資団体について、公共サービス提供主体の多様化などの社会状況を踏まえたうえで、経営状況や果たすべき役割を精査し、今後のあり方を検討する。

### ◎公共施設の延命化

7億6841万円

- ①劣化保全…市庁舎、市民文化会館、高齢者総合センター、保育園、小・中学校、調理場、市営住宅について、劣化調査の結果に基づき保全整備を行う
- ②改良保全…地震時などのエレベーター閉じ込め防止、特殊消防設備の安全性能改善を実施する。

### ◎わかりやすい広報の研究

36万円

各広報媒体について、市民にとってより分かりやすく、目に留めやすいものとするため、広聴機能との連携を図りながら研究を行う。

## 市民の安全を守る放射線対策

### ◎放射線対策事業

2143万円

#### ①市内における放射線量測定・放射性物質分析

- ・市内の空間放射線量の測定
- ・市内の土壌の放射性物質の分析
- ・認可保育所および市立小・中学校の給食食材の放射性物質の分析
- ・水道水の放射性物質の分析
- ・クリーンセンターなど特定施設での空間放射線量の測定および焼却灰などの放射性物質の分析
- ・市立小・中学校および市営プールのプール水の放射性物質の濃度測定



放射線量測定の様子

#### ②簡易型放射線量測定器の市民への貸し出し

#### ③講演会などの開催による市民への情報提供および啓発

## 下水道の環境改善を進めます

### ◎合流式下水道改善施設設置事業

16億9927万円

汚水混じりの雨水が流れる合流式下水道の大雨時の河川への越流防止対策を行い、公共水域の環境向上を図るため、合流式下水道改善施設を設置する。



#### ①吉祥寺東町四丁目地内 貯留施設

（約1,200m<sup>3</sup>）の完成を目指す。貯留施設イメージ

#### ②吉祥寺東町一丁目地内 貯留施設（約8,500m<sup>3</sup>）を平成24・25年度の2年間で整備する。

#### ③神田川排水区 平成25年度完了を目途に詳細設計を実施する。

### ◎雨水浸透施設助成事業

2000万円

雨水の下水道への流入抑制を目的として、住宅などに設置する雨水浸透ますなどの設置費用について助成金を交付する。

### ◎雨水貯留浸透施設設置事業

5700万円

市立第三小学校に500m<sup>3</sup>級の雨水貯留浸透施設を設置する。

### ◎雨水貯留施設設置事業

3850万円

北町保育園の建て替えに伴い、吉祥寺北町の大雨による浸水被害を軽減するために計画している雨水貯留施設の実設計を行う。

## パイプオルガンの芸術を世界へ

### ◎武蔵野市国際オルガンコンクール事業

500万円

国内外の優秀なオルガン演奏家を見出し、その育成と国際交流の推進を目的に第7回国際オルガンコンクールを開催する。9月に第1・2次予選を経て本選を実施する。



前大会の入賞者披露演奏会から（平成20年9月）

平成 24 年度  
特徴ある  
事業

東日本大震災を教訓に

◎地域防災計画の見直し **654万円**  
防災会議の専門部会として、地域防災計画策定専門委員会（仮称）を設置し、東日本大震災への対応や経験などを反映した、より実践的な地域防災計画に修正する。

◎固定系防災行政無線の増設 **1100万円**  
市内 44 カ所に設置している防災行政無線の屋外スピーカーを3カ所増設し、難聴地域の改善を図る。

公園などに設置されている屋外スピーカー



◎災害用トイレの整備 **2000万円**  
震災時にライフラインの途絶などにより不足するトイレ対策として災害用トイレを整備し、避難所の充実を図る。平成 24 年度は第二小学校に下水道に直結するマンホール式の災害用トイレ 10 基（一般用8基、だれでもトイレ2基）を整備する。

◎防災用高所カメラの移設 **400万円**  
高所カメラを、F & Fビル（コピス吉祥寺）から吉祥寺駅北口駅前広場付近のビル屋上に移設し、駅周辺の状況などを映像により的確に把握することで、駅前滞留者、帰宅困難者対策などを強化する。

◎帰宅困難者対策等備蓄品の充実 **634万円**  
大震災時に発生が予想される帰宅困難者を支援するための備蓄品や要援護者用備蓄品などの充実を図る。

美しい街並みを目指して

◎建築物の高さの最高限度の導入 **482万円**  
住環境の保全や街並み形成などの観点から建築物の高さ制限について、地域の実状に合わせて検討する。検討にあたっては、現況調査や課題分析などを行い都市計画高度地区による高さ制限を具体化し、都市計画変更の手続きを進める。

◎景観道路事業 **2億9320万円**  
市道第2号線（末広通り）は電線共同溝本体工事、市道第308号線は街路築造工事を予定。市道第151号線は地元と協議のうえ道路プランを作成し、道路および電線共同溝の設計を行う。

保育と教育の新たな環境を整備

◎境こども園（仮称）開設事業 **1億8163万円**  
幼児教育・保育・子育て支援の機能を併せ持つ認定こども園の新規開設のため、設置・運営主体となる公益財団法人武蔵野市子ども協会に対して、建設工事経費と職員体制整備経費の補助を行う。定員は、107名（幼稚園タイプ：46名、保育園タイプ：61名）を予定。



境こども園（仮称）完成イメージ

◎プレこども園事業 **3473万円**  
市立境幼稚園と、平成 25 年度に新設予定の認定こども園との間の移行期間をつなぐため、桜堤児童館でプレこども園事業を実施する。

◎幼児教育振興研究委員会（仮称）の設置 **37万円**  
幼児教育の振興を図るため、学識経験者によるアドバイスを受けながら、私立幼稚園と連携・協力して幼児教育への市の関与のあり方などについて研究を進める。

新グリーンセンターに向けて

- ◎新武蔵野グリーンセンター（仮称）建設事業 **7269万円**
- ①新武蔵野グリーンセンター（仮称）事業者選定委員会において、平成 24 年度末までに、新施設の整備・運営事業における民間事業者を公平かつ適正に選定する。
  - ②第二期新武蔵野グリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会で、新施設の建築デザインや施設・周辺整備について、検討を進めていく。
  - ③事業者選定委員会支援委託費、施設・周辺整備協議会支援委託費、土壌汚染状況調査委託費、グリーンセンターやごみ処理問題に関する啓発イベント支援委託費など。

毎日を健康に過ごすために

◎がん検診受診率向上事業 **458万円**  
がん検診に関する市民意識調査を実施する。対象者 5000 名にアンケートを行い、平成 25 年度に実施予定の受診勧奨などの事業につなげる。

◎妊婦健康診査の拡充 **7852万円**  
超音波検査に対する公費助成の年齢制限を撤廃し、妊婦健診に対する公費助成を拡充する。

◎子宮頸がん等ワクチン接種事業 **1億829万円**  
生後2カ月～5歳未満の乳幼児を対象に、b 型インフルエンザ菌（Hib）と小児肺炎球菌のワクチン接種費用の9割を助成し、感染症の予防を行う。中学1年生～高校1年生（相当年齢）の女子を対象に、子宮頸がんの発症原因となるヒト・パピローマウイルス（HPV）の感染を予防するワクチンの接種費用の9割を助成し、がんを予防する。

○ 耐震診断助成事業	810万円
○ 民間住宅耐震改修助成事業	3300万円
安全・賑わいのまちづくり促進型耐震助成	890万円
◎ 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業	5403万円
◎ 地域防災計画の見直し	654万円
◎ 帰宅困難者対策等備蓄品の充実	634万円
◎ 女性消防団員採用の推進	79万円
○ 災害用トイレの整備	2000万円
◎ 固定系防災行政無線の増設	1100万円
防災用高所カメラの移設	400万円

#### 多様な危機への対応の強化

生活安全対策(ホワイトイーグル・ブルーキャップ・)	
市民安全パトロール隊)	9908万円
消費生活センターの管理運営	1794万円

## 4 緑・環境

#### 市民の自発的・主体的な行動を促す支援

緑の表彰・顕彰制度	58万円
◎ 都市緑化フェア	1000万円

#### 環境負荷低減施策の推進

◎ 公共施設における新たなエネルギー活用の検討	1000万円
市域CO2排出削減推進事業	380万円
二酸化炭素排出削減行動助成事業	1801万円
太陽光発電設備の設置	3000万円
環境舗装事業	1億8870万円

#### 「緑」を基軸としたまちづくりの推進

○ 公園等建設事業(千川上水整備事業を除く)	11億6188万円
○ 千川上水整備事業	2800万円
未来へ育て!苗木すくすく大木計画	155万円
仙川水辺環境整備事業	1億4069万円

#### 循環型社会システムづくりの推進

レジ袋削減の推進	222万円
剪定枝葉資源化事業	1314万円
集団回収事業	4248万円
ごみ減量協働事業	170万円
○ 新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業	7269万円

#### 生活を取り巻く様々な環境の変化に伴う新たな問題への対応

◎ 放射線対策事業(水道事業会計含む)	2143万円
---------------------	--------

## 5 都市基盤

#### 地域の特性に合ったまちづくりの推進

建築物の高さの最高限度の導入	482万円
景観道路事業	2億9320万円
武鉄中付第1、第2、第3号線整備事業	2億3016万円

#### 都市基盤の更新

道路新設改良事業	2億385万円
橋りょう新設改良事業	3100万円

#### 利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備

放置自転車対策業務	2億836万円
◎ LED街路灯事業	1000万円

#### 道路ネットワークの整備

都市計画道路3・4・27号線事業	1583万円
都市計画道路7・6・1号線(御殿山通り)事業	2億3607万円
狹あい道路拡幅整備事業	4966万円

#### 下水道の再整備

臭気対策支援事業	150万円
雨水浸透施設助成事業	2000万円
雨水貯留浸透施設設置事業	5700万円
○ 合流式下水道改善事業	16億9927万円
◎ 雨水貯留施設設置事業	3850万円
◎ 公共下水道耐震化事業	3000万円

#### 住宅施策の総合的な取組み

◎ 分譲マンション実態調査事業	360万円
-----------------	-------

#### 三駅周辺まちづくりの推進

三鷹駅北口まちづくり構想の検討	452万円
鉄道連続立体交差事業	4億9642万円
都市計画道路3・3・14号線(南口駅前広場)事業	5000万円
吉祥寺方式物流対策事業	135万円
◎ 吉祥寺駅南北自由通路整備事業	8200万円
◎ 吉祥寺地区まちづくり検討調査	400万円
武蔵境駅舎周辺環境整備事業	2億3730万円
都道123号線拡幅整備事業	2億6165万円

#### 安全でおいしい水の安定供給

配水管網整備の推進	4億6428万円
浄水場・取水施設改良工事	1億3210万円

## 6 行・財政

#### 市民に届く情報提供と市民要望に的確に応える仕組みづくり

◎ 市勢要覧の発行	430万円
市民と市長のタウンミーティング	115万円

#### 公共施設の再配置・市有財産の有効活用

○ 公共施設改良保全整備	6471万円
○ 公共施設劣化保全整備	7億370万円

#### 社会の変化に対応していく行財政運営

◎ 財政援助出資団体のあり方の検討	500万円
住民情報系システム再構築	1億2000万円

#### チャレンジする組織風土の醸成と柔軟な組織運営

市民雇用創出事業	6億8609万円
----------	----------

平成 **24** 年度  
**予算の  
 主要な施策**

◎ : 新規事業  
 ○ : 拡充事業

**1 健康・福祉**

**支え合いの気持ちをつむぐ**

災害時要援護者対策事業	149万円
心のバリアフリー推進事業	95万円

**誰もが地域で安心して暮らしてつづけられる仕組みづくりの推進**

地域リハビリテーション推進事業	166万円
○ 高齢者見守り支援事業	839万円
認知症高齢者支援事業	1201万円

**誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進**

◎ 食育講演会の実施	83万円
○ 妊婦健康診査の拡充	7852万円
子宮頸がん等ワクチン接種事業	1億829万円
○ がん検診受診率向上事業	458万円
◎ 特定健康診査等実施計画作成	300万円

**住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備**

介護保険利用者負担額助成事業(5%助成)	2880万円
通所サービス利用者食費助成事業(200円助成)	1513万円
グループホーム等給付事業	1億6967万円

**2 子ども・教育**

**子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援**

○ 子ども家庭支援センター事業	3735万円
児童扶養手当等支給事業	3億9868万円
子どもための手当等支給事業	17億5722万円
○ 緊急待機児童対策事業	3509万円
保育の質向上の取組み	712万円
私立幼稚園等助成事業	3億1086万円

**地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実**

○ 子育て支援事業	1002万円
-----------	--------

**青少年の成長・自立への支援**

市立自然の村の管理運営	4407万円
地域子ども館事業	1億2842万円
学童クラブ事業	1億8299万円
児童館運営事業	1598万円

**子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備**

◎ 幼児教育振興研究委員会(仮称)の設置	37万円
◎ プレこども園事業	3473万円
◎ 境こども園(仮称)建設事業	1億8163万円
◎ 子ども協会立北町保育園建替事業	2億2536万円

**次代を担う力をはぐくむ学校教育**

○ 学校図書館サポーターの充実	1456万円
◎ 緊急連絡システムの構築	188万円
教育相談事業(不登校対策の推進)	7518万円
○ 特別支援学級の運営	1億1574万円

**3 文化・市民生活**

**地域社会と市民活動の活性化**

◎ これからの地域コミュニティと市民自治の検討	600万円
八幡町コミュニティセンター建替え事業	1億5093万円
市民協働推進事業	289万円

**互いに尊重し認め合う平和な社会の構築**

○ 平和啓発事業	416万円
男女共同参画施策の推進	1939万円

**市民文化の醸成**

◎ 第7回国際オルガンコンクール	500万円
観光振興事業	3367万円

**市民の多様な学びやスポーツ活動への支援**

ひとまち情報創造館 武蔵野プレイスの管理運営	5億2410万円
○ 国体・障害者スポーツ大会推進事業	3991万円
○ 障害者サービス事業(図書館)	258万円

**地域の特性を活かした産業の振興**

こうのとりベジタブル事業	186万円
登録農地育成事業	226万円
新・元気を出せ商店街事業	5757万円
商店街活性化・商店会組織力強化のための企画提案型補助金	600万円

◎ 都市観光を推進するための来街者調査

◎ 産業振興のための産業構造実態調査

小規模企業者への補助事業

**都市・国際交流の推進**

ルーマニア・ブラショフ市との交流事業	1242万円
友好都市交流事業	617万円
友好都市アンテナショップ運営事業	477万円

**災害への備えの拡充**

建築物耐震性相談事業	126万円
------------	-------